

単元名

環境問題について考えよう
「永遠のごみ」プラスチック令和6年11月26日(火) 6校時
男子18人 女子20人 計38人
6年2組教室

1 単元について

単元観

本単元は、学習指導要領における「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」(1)ウ「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。」を重点指導事項としている。

本教材は、正しく廃棄されずに海洋流出したプラスチックが環境に与える影響や仕組みについて解説した上で、一人一人ができる取組についての提案が具体的に述べられた文章である。加えて、資料①では新しい技術の例として、「生分解性プラスチック」が取り上げられ、資料②では、資源の有効利用の例として、プラスチック製漁網を再利用したかばんが紹介されている。教材文と併せて読むことで、この問題についてより多面的に考えることができるだろうと考えられる。

児童生徒観

本学級の児童は、これまでの説明的文章の単元において、「序論・本論・結論」の構成や文章の要旨の把握を学習している。しかし、全国学力学習状況調査では、複数の資料から情報を読み取り解答する問題の正答率が60.0%と、県平均と比較すると3.4%低かった。

さらに、「プレゼンテーションをしよう」の学習では、集めた資料から必要な内容を精選できないために、資料を効果的に活用して発表することが難しいグループがあった。

これらのことから、本学級の児童は、複数の文章や資料から必要な情報を読み取ることや取捨選択することに課題や苦手意識があると考えられる。そのため、本単元では、考えに説得力をもたせるための論の進め方や資料の活用の仕方に気付かせることに重点を置いて指導する必要がある。

阿賀中学校区型指導観

本単元の指導にあたっては、次の三点に重点を置く。

一点目は、児童にとって、必要感のあるゴールを設定することである。次の単元「発信しよう、私たちのSDGs」と関連させた上で、「自分の考えに説得力をもたせるためにはどうすればよいのか。」という問いをもたせ、その問いを解決することを目標に、本単元の学習を行う。また、本単元の学習を生かして、阿賀の町の問題について自分の考えや必要な情報をパンフレットにまとめ、総合的な学習の時間で阿賀の自慢を学習をしている3年生に向けて発信する。そのために、より分かりやすく説得力のある文章をまとめようという意欲をもたせる。

二点目は、教材文や資料の読み取りの際にキーワードに着目させることである。これまでの学習経験から、どのような言葉がキーワードになるのかを考えさせ、共有する。単元を通して、キーワードに着目しながら常に音読を取り入れて読み取りをしたり、キーワードに線を引いたり印をつけたり、キーワード同士をつないで活動を取り入れる。また、読み取ったキーワードをまとめるワークシートは、難易度の違うものを両面に印刷し、児童が自分で選択して学習に取り組むことができるようにする。

三点目は、必要感のある対話を取り入れることである。ゴールを達成するために、教材文の論の進め方や、複数の資料をつなげることが大切であることを、多くの場面で対話を取り入れながら自分たちで気付かせたい。また、自分の集めた資料が本当に必要かどうか、他にどんな資料が必要なのかを、対話によりお互いアドバイスをし合うことで、その後のパンフレット作成のための資料の収集や正しい取捨選択につなげる。その際に、ロイロノートの思考ツール・フィッシュボーン図を活用することで、必要な資料を視覚的に確認したり、操作したりしながら対話することができるようにする。

【問い】

複数の資料を読むことには、どんなよさがあるのだろう。

【選択・自己決定】

必要な資料の選択
・インターネットの情報
・本やパンフレットの情報
・身近な環境の現状や人からの情報

【発展的振り返り】

自分の考えに説得力をもたせるためには、実際の取組の事例が必要だ。足りない情報を集めたい。

2 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。【知識及び技能】
- 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論のすすめ方について考えたりすることができる。【思考力，判断力，表現力等】
- 積極的に，原因と結果など情報と情報の関係について理解し，学習課題に沿って内容を説明しようとすることができる。【学びに向かう力，人間性等】

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	①「読むこと」において，目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり，論の進め方について考えたりしている。	① 積極的に，論の進め方や文章と図表などの情報の関係について理解し，学習課題に沿って内容を説明しようとしている。

3 指導計画（全8時間）

次	時	主な学習活動	問い	選択 自己決定	評 価			
					知	思	主	評価方法
一	1	・地球や身近な環境の問題について共有し，解決のためにできることを考える。	【単元を貫く問い】 地球や阿賀の環境で，どのようなことが問題になっているのだろう。				①	ワークシート
二	2 3	・教材文の構成を確認し，筆者の主張をとらえることができる。	自分の考えに説得力をもたせるためには，どうすればよいのだろう。	○	①	①		ワークシート
	4	・教材文の論のすすめ方の特徴をとらえることができる。	説得力をもたせるための筆者の書き方の工夫は何だろう。			①		ワークシート
	5	・資料①と教材文を関係付けて読み取ることができる。	教材文と資料①のつながりは何だろう。	○		①		ワークシート
	6	・資料②と教材文を関係付けて読み取ることができる。	教材文と資料②のつながりは何だろう。	○		①		ワークシート
	7 (本時)	・複数の資料を関係付ける効果について考えることができる。	複数の情報を読むことには，どのようなよさがあるのだろう。			①		ワークシート

三	8	・単元の学習を振り返り、次の学習への見通しをもつ。		自分の考えに説得力をもたせるために、どのような情報を収集・選択するとよいだろう。	○		①	①	児童観察 ふり返り
---	---	---------------------------	--	--	---	--	---	---	--------------

4 本時の展開（前時 7／8）

（1） 本時の目標

2つの資料と教材文で述べられている内容のつながりから、複数の資料による効果に気付くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

（2） 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	配慮が必要な児童 生徒への手立て	評価規準【観点】 （評価方法）
出会う・つかむ	1 前時までの学習を振り返る。 ・資料①は、マイクロプラスチックの解決策や問題点について書かれていた。 ・資料②は、漁網のごみやプラスチックごみを減らす取組について書かれていた。 2 本時のめあてを確認する。 【問い】 複数の資料を読むことには、どんなよさがあるのだろう。	○ 学習コーナーの掲示物を活用し、単元のゴールや、これまでに読み取った教材文と資料①②とのつながりをまとめた構成図を見せながら、本時の課題につなげる。 ○ 児童の反応や発言を活用してめあてを設定する。		
	【本時のめあて】 教材文と二つの資料をつなげて読むよさは何だろう。			
考える・深める	3 教材文と複数の資料とのつながりを整理する。 ・プラスチックごみの問題は、「生き物にあたえる影響」と「分解されないこと」だった。 ・私たちにできることは、「回収方法に従ってごみを捨てること」と「プラスチックごみの量を減らすこと」だった。	○ ロイロノートにまとめた構成図をフィッシュボーン図に切り替え、情報を整理するためのキーワードを全体共有する。 ○ 自分の集めた資料を分類・整理する際にも、この図を活用することを知らせ、今後の学習への見通しをもたせる。		

4 自力解決をする。 5 整理した図を班で共有し、2つの資料の情報の効果について話し合う。 6 全体で共有する。 ・問題の解決のための取組が分かった。 ・プラスチックごみの量を減らすために気に入って長く使えるものを作るという例があった。 ・生分解性プラスチックについては、問題点も書かれている。 7 資料①②の効果を考える。 8 本時の学習をまとめる。	○ フィッシュボーン図に表したキーワードをもとに、資料①②の情報のカードを操作し、グルーピングさせることで、資料により加わった情報がどのように教材文を補足しているのか気付かせる。 ○ 友達と対話することにより、2つの資料により新たに加わった情報からどのようなことが分かったのか、導き出すことができるようにする。 ○ 班で話し合ったことを代表児童に発表させ、自分たちの班の考えと比較させることで、複数の資料によって分かった情報に気付くことができるようにする。 ○ 全体共有した内容をもとに、本時のめあてに対する答えを考え、自分の言葉でまとめさせる。 ○ 自分たちの資料収集や取捨選択のために、どのようなキーワードでまとめるとよいか考えさせる。	○ 個別の声かけを行い、文章の構成図やこれまでに学習したワークシートのどの部分を活用するとよいか助言する。 ○ 自力解決が不十分だった児童に声かけを行い、分からなかった所を班の友達と確認させる。 ○ 板書にまとめたキーワードを活用しながらまとめることを助言する。	○ 複数の資料によって、教材文の内容にどのような情報が加わったのか考え、自分の言葉でまとめている。
【本時のまとめ】 二つの資料をつなげて読むと、筆者の主張に対する<u>他の解決策</u>が分かる。			
9 自分に必要な資料を検討する。 【選択・自己決定】 必要な資料の選択 ・インターネットの情報 ・本やパンフレットの情報 ・身近な環境の現状や人からの情報	○ 本時の学習をもとに、パンフレット作成に向けて自分が集めている資料を取捨選択したり、さらに必要な資料を考えたりする時間をとる。		【思考・判断・表現】(ワークシート)

振り返る	10 本時の振り返りをする。		
	【発展的振り返り】 - 自分の考えに説得力をもたせるためには、実際の取組の事例が必要だ。足りない情報を集めたい。 - 自分の集めている資料には、必要ないものもありそうなので、本当に必要な情報がどれなのか考えて整理したい。		

5 板書計画

めあて

教材文と二つの資料をつなげて読むよさは何だろう。

資料①②から分かった情報

漁網からつくられたかばん

生分解性プラスチック

プラスチックごみの量を減らす

気に入って長く使えるものをつくる

問題解決のための事例・取組

問題点

事例・取組

まとめ

二つの資料をつなげて読むと、筆者の主張に対する他の解決策が分かる。

教材文の構成図

※ フィッシュボーン図まとめの例（ロイロノート）

